



車高調整式ショックアブソーバーの注意事項・基本取扱方法
 〈使用する前に必ずお読み下さい〉

TEIN SUPER STREET DRIVING MASTER DAMPER



万一製品に不具合があった場合や本書内でご不明な点がございましたら弊社までご連絡下さい。

お客様お問い合わせ先【株式会社 テイン 業務課】

〒245-0053 神奈川県横浜市戸塚区上矢部町995-1

TEL : 045-810-5501 FAX : 045-810-5502

ホームページアドレス : <http://www.tein.co.jp/> メールアドレス : sales@tein.co.jp

02

製品の特徴、注意事項

この度は当製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

当製品はアメリカ市場向けに開発された製品であり下記の注意事項がございます。

- アメリカで実車取付確認を行っており、日本国内では取付確認を行っておりませんのでご注意ください。
- 日本国内の公道で使用するには、法的規制に則りご使用下さい。
- 取付に関する不具合(グレード・装備品による車高差異など)に対する対応は一切出来ませんのでご了承下さい。
- 製品保証サービスをお受けになるためには付属のユーザー登録用紙にてユーザー登録の必要がございます。ユーザー登録がない場合は、万一製品に関する製造上の不具合があった場合でも対応は一切出来ませんのでご了承下さい。

保証について

本書に記載されている事項を守らなかった場合の死亡・怪我・事故物的損傷・製品についての保証は、弊社では一切の責任を負いかねます。また、製品脱着及びそれに関する作業工賃・送料・時間的損失・車輛等の修理代金は弊社では一切負担しかねますので、予めご了承下さい。

◀ 本文中にある略語・記号の意味 ▶

⚠ **警告** : 記載の事項に反した場合、死亡や重傷及び重大な事故につながる危険性があります

⚠ **注意** : 記載の事項に反した場合、怪我及び物的損傷につながる危険性があります

☑ **確認** : 確認していただく事項

📖 **参考** : 参考になる事項

🔧 **☑** : 締め付け推奨トルク

S/A : ショックアブソーバー S/P : スプリング U/M : アッパーマウント P/R : ピストンロッド

構造上の注意

⚠ **警告** 当製品は窒素ガスが封入されておりますので絶対に分解したり火中に投げたりしないで下さい。
 ⇒爆発する危険性があります。

⚠ **注意** 構成部品の取り付け取り外し・U/M脱着作業にインパクトレンチを使用しないで下さい。
 ⇒インパクトレンチの負荷により、S/A内部のナットが緩み外れる場合があります。外れた場合は内部のガス圧によりP/Rが勢よく飛び出すことがあるので大変危険です。

⚠ **注意** P/Rのネジ部や摺動部を直接工具でつかむことや必要以上に叩くこと・落下させるような衝撃を与えることは絶対にしないで下さい。
 ⇒P/Rに傷が付くと、オイルシールを痛めてしまい、油漏れや作動不良の原因になります。

📖 **参考** 当製品は性能及び耐久性を向上させる為、外筒径が純正品よりも大きく設計されておりますので、タイヤまたはホイールがS/Aと干渉する場合があります。干渉する恐れのある場合は、組合わせるタイヤ・ホイールのサイズを変更するかホイールスペーサー等で調整して下さい。

..










●本書の内容を無断掲載することは、著作権法により禁止されています。



このパンフレットは再生紙を使用しております












INSYA-ALL-01-200504

取付上の注意

-  **警告** 作業でジャッキアップ・リフトアップする際は、必ずリジトラックを使用し、リフトにはストッパー等の安全装置を使用し下回りの安全を確保して下さい。特にジャッキアップして作業する際は、ぬかるんでいる場所や坂道等を避け、安定して地面がしっかりした場所で行って下さい。
-  **警告** ブレーキ回りの分解作業は整備の資格を持った方が行って下さい。
詳しくは国土交通省及び各支局にお問い合わせ下さい。
-  **注意** P/Rロックナット(組立済製品)・シートロックは全て仮締め状態で出荷しておりますので、走行前に必ず推奨トルクにて締め付けてご使用下さい。
-  **注意** S/Pコンプレッサーを使用する場合は、取り扱いに十分注意して下さい。
-  **注意** 走行直後はブレーキ周辺等高温になる箇所があります。作業は各部が冷めるまで行わないで下さい。
-  **注意** 作業を行う際は、各 부품のバリ等に十分注意して下さい。
-  **注意** P/RロックナットはS/Aから取り外したものを再使用することがほとんどの場合においてできませんので、新品をご用意下さい(一部例外車種あり)。詳しくは自動車メーカー等にお問い合わせ下さい。
-  **注意** 各部の締め付けは本書記載の推奨トルクに従って下さい。
-  **参考** 当製品装着後、各アーム類の取付角度が純正品装着時から変化しますので、取付後は車重をかけた状態で各アーム取付部のボルト類をメーカーの推奨トルクで締め直すことをお勧めいたします。

SW

取扱上の注意

-  **注意** 一般公道を走行する際は最低地上高を90mm以上確保し、S/Pが遊ばない位置に車高を設定して下さい。
⇒「道路運送車両の保安基準」に定められております(詳しくは所轄の陸運支局にお問い合わせ下さい)。
⇒ S/Pが遊んだ状態で使用した場合、異音の発生や破損の原因になります。
 -  **注意** 装着後は定期的に車高・各部の緩み・油漏れ等を確認し、必要に応じて調整・締め付け・清掃して下さい。
⇒車高はS/Pの経年変化により自然に下がる場合があります。
 -  **確認** 車高を下げて使用する場合、道路の段差や駐車場の縁石等に下回り(マフラー・スポイラー等)が干渉し易くなりますので、特に注意して運転するように心がけて下さい。
 -  **確認** 走行開始直後は急激な操作を控えて下さい。
⇒徐々にS/Aを馴染ませることにより、製品寿命を長くすることができます。
 -  **確認** 当製品を装着することにより、アライメントが変化しますので、アライメントテスター等で調整することをお勧めいたします。
 -  **参考** シェルパイプのネジ部・シートロックの間には砂利や埃がたまりやすい為、シート高調整の際はシェルパイプに付着した砂利等の異物を除去し、潤滑剤を塗布する事をお勧め致します。
⇒定期的に潤滑剤を塗布するとシェルパイプとシートロックが馴染みやすくなりますので、調整の際はよりスムーズに作業を行う事が出来ます。
 -  **参考** 当製品にはメンテナンス用としてラストプルーフ(防錆スプレー)を同梱しております。必要に応じてシェルパイプネジ部に塗布して下さい。
 -  **参考** 路面のうねりや段差を通過する際に「シュツ」・「キュツ」という音がする事が稀にあります。これは、S/A内部オイルの流動音で、S/Aが作動する際に発生する音ですので特に製品に異常があるというものではありません。
 -  **参考** オイルの流動音は、車体の形状(U/Mの取付位置等)や減衰力の違いにより、聞こえやすい車種や殆ど聞こえない車種があります。
 -  **参考** 取り外されました純正部品は必要になる場合がございますので大切に保管される様お願い致します。
-
-  **注意** S/Aを廃却する場合はケース中央付近にΦ2~3mmのドリルで穴をあけガスを抜いてから廃却して下さい。
穴あけ時、穴から油や切り粉が飛び出すことがありますので、防護メガネ等をご使用下さい。
S/Aには、可燃性オイルやガスが封入されています。取り扱いには十分注意して下さい。
廃却する場合は、整備工場や自動車解体業者等の専門家にご相談下さい。

SW

製品の保証について

●当製品は製品保証サービスを設けております。

製品保証サービスをお受けになるためには、下記手順に従い登録手続きが必要になります。

〈登録手続き〉

- ① 当製品のご購入店にて、別紙のユーザー登録用紙に購入店名・住所・電話番号等の必要事項をご記入頂き、捺印欄へご購入店の捺印をお受け下さい。
- ② お客様のご氏名、ご住所、お電話番号等、必要事項をご記入下さい。
- ③ ユーザー登録用紙裏面のアンケートに回答をご記入下さい。
- ④ 必要事項が全て記入されたユーザー登録用紙と、お客様のお買い上げ日を証明できるもの(レシート、作業明細書等のコピー)を添えて、付属の返信用封筒を使用して投函して下さい。その際の切手は不要です。
※証明物は複写でかまいません(証明物は返却できませんので予めご了承下さい)。
- ⑤ 弊社での登録手続きが終了しましたら、保証書を送付させていただきます。保証書の到着まで弊社受け付けより一週間程かかります。
- ⑥ 弊社から送付致します保証書は、製品保証サービスを受ける際に必ずご提示いただきますので、車検証等と一緒に大切に保管して下さい。
※別紙のユーザー登録用紙では、一切製品保証サービスを受けることができませんのでご了承下さい。

【保証内容について】

1. 弊社の製品保証サービスは、保証書に記載されたお客様、製品、期間、製品保証規定に基づいて、本製品が正常なご使用状態で製造上の原因による故障が生じた場合には、弊社による製品の無償保証をお約束するものです。従って登録手続き後送付される保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。またいずれかひとつでも製品保証規定の免責事項に該当する場合は、保証期間内であっても保証の対象外とさせていただきますので、予めご了承下さい。
2. 弊社は、印刷物の内容に万全を期しておりますが、万一、印刷の誤り等があった場合には、弊社は一切の責任を負いかねますので予めご了承下さい。
3. 弊社は必要とみなした場合、予告なしに製品保証規定を改訂する権利を有しています。当規定において保証内容の変更があった場合、改訂後の保証内容に基づいて保証させていただきます。
4. 本製品が原因で生じた傷害(車両のトラブル、その他の事故一切)や自動車を使用できなかったことによる損失等につきましては一切の保証は致しかねます。また、その際に発生する全ての費用(脱着工賃・関連作業工賃・送料・関連して生じた直接および間接の損失、損害)につきましても、弊社では一切責任を負いかねますので予めご了承下さい。

【保証を受ける手順】

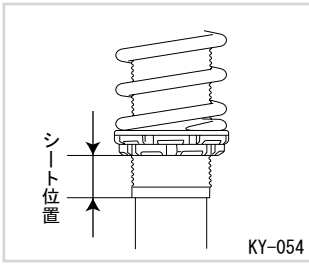
製品に不具合があった場合は、該当する製品を車両から取り外して、必ず弊社業務課までご連絡のうえ、保証書と故障内容を明記したものを添付してご返送下さい。

【製品保証規定】

当製品は、お客様の正常な使用状態で万一故障した場合は、下記保証規定に基づき無償で修理又は交換いたします。

1. 保証期間：製品の購入日から一年間または走行距離10,000km
2. 下記の何れかの事項に該当する場合には保証期間内でも有償修理、有償交換となります。
《有償修理となる場合》
 - 製品をお客様ご自身、またはカーショップ、修理工場等で改良、改造等を行った場合
 - 製品の落下等による損傷、製品不具合
 - 製品脱着時による塗装剥がれ等の外観損傷
 - 取扱説明書記載の警告及び注意事項等に反している場合や誤った装着をされた場合
 - 他社サスペンション関連商品との組み合わせにより発生した損傷、製品不具合
 - お客様のご依頼により、過去に弊社による仕様変更が行われ、それが原因となった損傷、製品不具合
 - お客様のご依頼による、製品性能確認等の要求作業
 - 海水、融雪剤等の付着を含む、錆による損傷、製品不具合
 - 保証期間後の経年変化による性能低下、損傷、製品不具合等《保証対象外となる場合》
 - 製品特性上の音(ダンパー内部のオイル流動音、ピロボールによる音等)
 - 競技(悪路、砂地等の走行)に使用された場合
 - 牽引等に使用した車両、公用車両および商用車両
 - 製品装着後、10,000km以上走行されている車両
 - 日本国外で使用された場合(This warranty is valid only in Japan)
 - 保証書の提示が無い場合。また保証書の内容に改ざんの跡が認められる場合
 - 弊社による製品保証規定の改訂による場合
 - 製品脱着工賃、関連作業工賃、送料、関連して生じた直接及び間接の損失、損害
 - 弊社の改良後製品との比較による場合
 - カタログ、取扱説明書等の弊社印刷物の誤りによる場合

車高調整方法



車高はロアシート・シートロックを上下させることにより調整します。ロアシートを上げると車高は上がり、下げると車高は下がります。

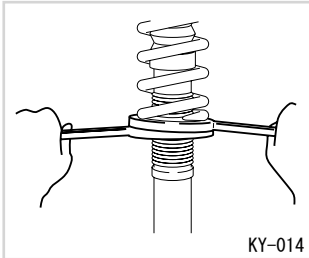
左図シート位置は車高を決定する寸法です。S/Aを取り付ける際・車高を調整する際は予めシート位置を測定して下さい。

シート位置はロアシート・シートロックもしくはシートロック同士を固定した後、スケール・メジャー等で測定して下さい。



注意

車高を調整する際にはS/Pの座面等の砂やごみ等を取り除き、CRC・WD40等の浸透潤滑剤を添布してから調整して下さい。すべりが悪いまま調整をしますとネジ部のかじりやゴムシートの破損等の原因となる事があります。必要に応じてスプリングコンプレッサーを使用して下さい。

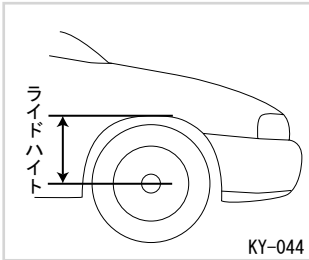


走行する場合は、必ずロアシート・シートロックもしくはシートロック同士を固定して下さい。

車高調整レンチを各シートの切り欠きに合わせる。ロアシートもしくは上側のシートロックを固定し、下側のシートロックを回して推奨トルクにて締め付ける(手で仮締めしたところからレンチで更に15°~20°締め込んだ位置が目安となります)。



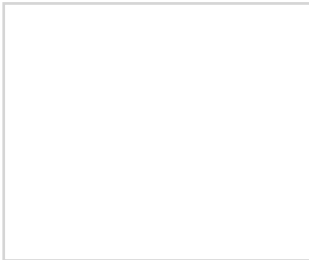
: 56.4 ± 2.45 N·m (5.75 ± 0.25 kgf·m)



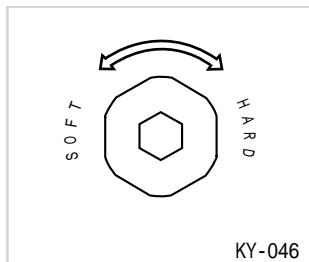
左図ライドハイトを測定することにより車高を確認します。測定する際はジャッキダウンしたままではなく、前後動かして荷重をかけることにより、各部を馴染ませて下さい。



参考 タイヤ外径を大きくすると最低地上高が上がります。



減衰力調整方法

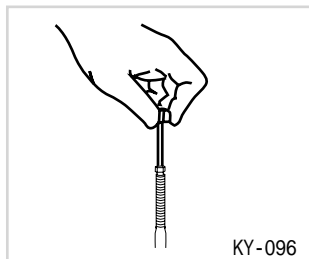


確認 減衰力調整の際は、P/Rの上端にあるクリック(減衰力調整ダイヤル)を回すことにより行います。



確認 減衰力は0~16段の範囲で調整できます。クリックは1段が約1/8回転(1回転で8段移動)となっております。構造上17段以上戻りますが、破損の原因となりますので17段以上は戻さないで下さい。

右に回転して止まったところが0段になり、この位置が一番高い減衰力を発生します。また、この位置は段数を確認する基点になりますので、何段にしているのか判らなくなった場合は、一度0段に戻して確認して下さい。クリックは、左図のように右に回すと減衰力が高く(HARD)なり、左に回すと減衰力が低く(SOFT)なります。



クリックツール(減衰力調整レンチ)をクリックの六角穴に合わせて差し込みます。一部車種にクリックツールが内装等に干渉するものがありますので、この場合は手で直接クリックを操作して下さい。

まず、0段に合わせます(出荷時は0段に調整されていますが、再度ご確認下さい)

初めての方はクリックを左に回していき、基準クリック(実車データ参照)に合わせて使用することをお勧め致します。基準クリックから走行を繰り返して、徐々に最適な位置まで調整して下さい。



参考 クリックをHARD側に設定すると、スポーツ性は向上・乗り心地(快適性)は悪化する傾向があります。逆にSOFT側の設定は、乗り心地が向上する方向になる反面、スポーツ性が低下する傾向があります。